

奈良・吉野

下市町

撮影：下市八幡神社



vol.81
奈良県
PRESENTED BY
奈良のタウン情報
はるる



おいでよ！
下市町

絵馬の発祥の神社と言われる「丹生川上神社 下社」や、歌舞伎の舞台にもなっている「つるべすし 弥助」など、下市町と言えば…のマストスポットを紹介♪
またせっかく訪れたのならぜひ朝市や直売所情報も発信！

白・黒2頭の馬が境内でお出迎え

飛鳥時代に天武天皇により、675年に創建された社。日本最古の水神を祀っていて、雨乞いに黒馬・晴れを祈り白馬と古の人々は神を敬い、五穀豊穡を祈ったのだという。今もその心は受け継がれ、境内には白・黒2頭の馬が飼育され、参拝する人を出迎えている。鎮座地は神武天皇が神様の声を聞いた丹生の川上。神秘的な神社に丹生の風を感じに足を運ぼう。



近畿の有名神社数社を経験し、平成21年秋に兼任しました。神社の建築上の特徴としては、丹生山山頂に鎮まる本殿まで続く木製七十五段の階(きざし)が、参拝者の心を魅了します。川のせせらぎ、鳥の声、風の音を感じに、ぜひ「丹生川上神社 下社」にお越しください。

丹生川上神社 下社

にうかわかみじんじや しもしや
吉野郡下市町長谷1-1 / ☎0747-58-0823 / 境内参拝自由 / P有



下市町キャラクターごんたくんの歌舞伎の舞台にもなっている老舗

創業800有余年、歌舞伎「義経千本桜」三段目「すし屋」の舞台となった場所。戦前から続く風情ある佇まいの木造三階建の建物で、三階の大広間からはベンガラの赤壁にせまる崖に見立てた山庭を一望できる。贅沢な空間でいただく鮎料理を中心とした懐石料理やすし定食は、言うまでもなし！土産物に鮎ずしも購入できるからぜひ訪れて。



先祖代々長きにわたって受け継がれてきたお店です。この伝統をこれから先も引き継いでいくように、地元の吉野川でとれる鮎をお料理に使うなど、地産のこだわりをもちつづけてお客様に喜んでもらうように努めています。

つるべすし 弥助

やすけ
吉野郡下市町下市533 / ☎0747-52-0008 / 11:30~22:00※要予約
月曜休 / 座敷40席、個室2名(~16名) / P有



Facebook
「下市町地域おこし情報」にて最新情報発信中!
「いいね!」してね!



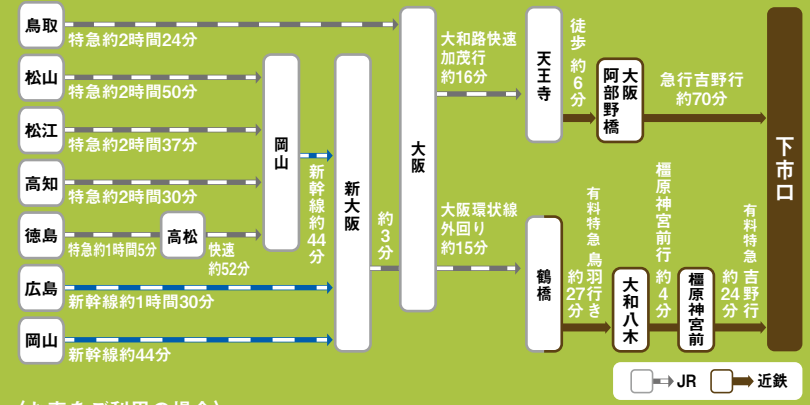
下市町
マスコットキャラクター
ごんたくん

facebook 下市町 検索
https://www.facebook.com/simochi.tiikiokosi
お問い合わせ 下市町 〒638-8510 奈良県吉野郡下市町下市1960
役場 TEL.0747-52-0001 FAX.0747-54-5055
http://www.town.shimochi.nara.jp

下市町データ	
面積	62.01km ²
人口	6,001人 (H27.11月)
町の木	杉
町の花	松葉ぼたん

下市町へのアクセス

（電車をご利用の場合）※列車の所要時間は目安です。ご利用になる列車によって異なります。※新幹線および近鉄特急をご利用の際は、乗車券のほか別途特急券をお買い求めください。



（お車をご利用の場合）

出発地	所要時間
鳥取	米子IC→下市町 …約4時間30分
島根	東出雲IC→下市町 …約4時間35分
岡山	岡山IC→下市町 …約3時間40分
広島	広島IC→下市町 …約5時間
高知	高知IC→下市町 …約5時間
愛媛	松山IC→下市町 …約5時間10分
徳島	鳴門IC→下市町 …約3時間30分
香川	高松IC→下市町 …約4時間

奈良県南部に位置する下市町は、緑の山々と澄みきった清流に彩られた自然環境、そして古代から続く長い歴史に育まれてきた文化が引き継がれている。全体の78.6%が山林に囲まれ、吉野山地と大和平野を結ぶ交通の要衝、市場町として栄え、三宝や神具、割箸などの木工業が

盛んだ。下市町のマスコットキャラクター「ごんたくん」が地元の魅力を発信すべく活発に活動している。ごんたくんグッズも人気！長い歴史に培われてきた賑わいと安らぎ、そして現在の地元の人のパワーを感じに、下市町に足を運んで魅力を味わおう！

朝市や直売所も要チェック!

朝市

毎週土曜日に開催されている「下市元気印 朝市」。下市町内の農業従事者などが共同で運営している。新鮮かつ安全な野菜をはじめ、切花や鉢花、加工品など地元で生産された特産品を販売。

吉野郡下市町下市3071 / ☎0747-52-0001(下市町役場)
※毎週土曜開催 9:00~11:00(11~3月)、8:00~10:00(4~10月)

栃原道しるべ

毎週土・日曜に開催されている「栃原道しるべ」。地元栃原地区で栽培された野菜や果物、農家で作られた加工品の直売所だ。店内では生産者の紹介コーナーもあり、新鮮で安全な食材を購入できる。

吉野郡下市町栃原2312-1 / ☎0747-53-0831 ※毎週土・日曜開催 8:00~16:00

どろんこ畑

採れたて新鮮な旬野菜や果物が購入できる直売所。併設するカフェ「かてと」では、パン生地を焼き上げた3種のピザを提供。秋には柿狩り体験もできるから、ファミリーで訪れるのもオススメ!

吉野郡下市町栃原2303-8 / ☎0747-52-6660
9:00~16:00 / 土・日曜休 / P有



人口の減少、高齢化という大きな課題に対し、どの地域も試行錯誤している現在。ここ下市町は、地域一帯で「元気で」「楽しく」、特産品や地域の特色を活用し、広く活動している！
下市町の地域創生、今後の発展が楽しみ♪



早秋で収穫できるのは、ハウスで栽培した刀根早生柿。秋が深まってくると露地栽培のひらたね柿（どちらも渋柿）で、色・形・つやを整え柿の葉すしの材料や日本料理の「つまもの」に使用される。出荷は12月中旬まで続く予定。



旭ヶ丘農業生産販売協同組合長 清水さん

農事組合法人 旭ヶ丘農業生産販売協同組合

吉野郡下市町栃原 1481 / ☎0747-52-3047 / http://www.tochihara-kakinosato.com

栃原地域は柿の主産地として栄え、「栃原柿」という品種がある。現在もほとんどが果樹生産農家だが、少子高齢化で産地維持が難しい。そこで3年前から栽培を柿の実ではなく葉にし、高齢者が農業しやすい栽培へとシフトしてきている。減農薬栽培で食の安全・安心を大切に！今後は若い世代に継承し、栃原地域・吉野郡の活性化へとつなげる動きだ。

葉っぱビジネスで生涯現役
柿の葉栽培に転換！
みんなで守り、地域活性化

特産品の開発で
地域創生



平原区むらづくり委員会 北谷さん

無農薬・有機栽培にこだわり、丹精込めて作られたレモングラスのハーブティーは、香りが良く自然な甘み特徴。北谷さんが持っているのは、ティーポット用380円(20g/右)、ティーバッグ入450円(8袋12g/左)。

平原区むらづくり委員会 (大和あゆみ農園)

吉野郡下市町平原 91-3 / ☎0747-52-3335 / http://shimoichi.com/heibara

下市町平原地域では、平原区むらづくり委員会のメンバーが中心となり、ハーブの里づくりに取り組んでいる。月に1回村の人が集まりハーブ畑の手入れや収穫、加工を実施。ハーブティーのブレンドやアロマオイルの製品化、今後はハーブを使ったワークショップなども開催予定！活動の詳細は随時HPをチェックしよう。

薬草の里だった平原を
今度はハーブの里として
地域全体で取り組む

ハーブで
地域創生



地域おこし協力隊 代表 森さん

住み込みで木工作品制作に励む「市ichi」のメンバー。モットーは「道具を大切に」すること。鍛錬やセンスはもちろんだが、道具を大切にすることで木工の美しさを最大限表現することに、彼らは重きを置く。

下市町木工 市ichi (いち)

吉野郡下市町阿知賀 61 / ☎0747-68-9118 / 8:30~18:30 / 日曜休 / https://www.facebook.com/mokkousya.ichi

全体の78.6%が山林に囲まれている下市町。三宝や神具、割箸などの木工業が盛んな町だ。ここ阿知賀にある「市ichi」では、旧水道事業所の倉庫を改装した工房で、地域おこし協力隊・代表の森さんと研修生が吉野杉・かんな仕上げの木工作品を制作している。「この工房を拠点に、若い力で吉野下市町の地域発展の力に！」という森さん。若い手から発信される木工作品の魅力は底知れない。

吉野杉を家具に！
若者の感性をプラスし
新ブランド力の向上を

木工の町として
地域創生



地域おこし協力隊 秋谷さん

初めは土も虫も苦手だったという秋谷さん。自然と共存する大切さを理解することで苦手を克服。「どんな土地でも自分の手で野菜作りはできます！コンクリート生活の都会人に、大地の恵みとありがたさを体験してほしい」と話す。

「農林業に興味はあるけれど、どう始めたらいい?」「家庭菜園をしているけれど、畑で教えてもらいながら農作物を作りたい!」そんな人にぴったりのプロジェクト。日々の生活を送りながら週末は有機野菜・果樹・林業を学べる。地域おこし協力隊の秋谷さんは農業未経験。東京で20年間生活するなかで「農業は人を癒す」と体感し、地域活性化や食の根源に興味を持ったのだという。次の塾生募集は2016年3月から。興味のある人はHPやブログをチェックして!

秋谷奈美と
奈良・吉野下市町で
農林業を学ぶ!

さとやま学校で
地域創生



~週末に農業と林業が学べる さとやま学校~ よしの農林業週末塾

吉野郡下市町下市 1960 / ☎0747-52-0001 (下市町役場地域づくり推進課/担当秋谷迄) / http://www.yoshino-noringyo.com/index.html